

## 単元の指導と評価の計画

単元名	5年 Unit 8 Who is your hero?
単元の目標	自分の気持ちを知ってもらったり、相手の気持ちを知ったりするために、友達のおこがれの人について、短い話の概要を捉えたり、自分のおこがれの人について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話したりすることができる。 「聞くこと ウ」「話すこと [発表] ウ」

### ○単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>〈知識〉</b> 性格や頻度、動作などを表す語句や Who is your hero? My hero is ～. Why is ～ your hero? He/She is good at ～.の表現について理解している。 <b>〈技能〉</b> ④ 友達のおこがれの人について、短い話の概要を捉える技能を身に付けている。 ⑤ 自分のおこがれの人について、上記の語句や表現等を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。	④ 相手の気持ちを知るために、友達のおこがれの人について、短い話の概要を捉えている。 ⑤ 自分の気持ちを知ってもらうために、自分のおこがれの人について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	④ 相手の気持ちを知るために、友達のおこがれの人について、短い話の概要を捉えようとしている。 ⑤ 自分の気持ちを知ってもらうために、自分のおこがれの人について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。

○の領域…学習状況を確認する  
□の領域…記録に残す評価を行う

### ○単元の指導と評価の計画

時数	本時の目標	◇主な言語活動 <small>[ ]は教科書に提示されている活動</small>	各時間に扱う表現	評価の観点			本時の評価規準
				知・技	思・判・表	態	
1	おこがれの人や得意なことを聞き取る。	◇ [Starting Out] おこがれの人についての話を聞き、得意なことを聞き取る。	My hero is ～. He/She is good at～.				④ おこがれの人や得意なことを聞き取っている。
2	得意かどうか伝え合うことができる。	◇ [Let's Try③] ペアで、絵カードに書かれたことが得意かどうか質問したり答えたりする。	A: Are you good at ～? B: Yes, I am./No, I'm not.				④ 得意かどうか伝え合っている。
3	頻度を表す語句を使って、普段することを話すことができる。	◇ [Let's Try②] 日課について、頻度に応じて4コーナーに分かれ、頻度を表す語句を使って普段することを話す。	I always/usually/sometimes/never clean my house.				④ 頻度を表す語句を使って、普段することを話している。
4	友達の得意なことや普段の様子について話すことができる。	◇ [Let's Try④] 友達の得意なことや普段の様子について、別の友達に紹介する。	He / She is good at ～. He / She is ～.			↓	④ 友達の得意なことや普段の様子について話している。
5	おこがれの人についての話を聞き、短い話の概要を捉えることができる。	◇ [Let's Listen②] 教員やALTの話を読み、おこがれの人やその人が得意なこと、普段の様子などについて聞き取る。	My hero is ～. He is good at ～. He is ～.	④	④	④	④ 単元の評価規準を参照
6	自分のおこがれの人について、得意なことや普段の様子など、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。	◇ [Step①②] おこがれの人が得意なことや普段の様子など、発表する内容を整理し、ペアで話したり、絵カードを作ったりする。 ◇Speech グループで、おこがれの人について発表する。得意なことや普段の様子などについて話す。	My hero is our teacher. He is good at playing sports. He is strong.				④ 自分のおこがれの人について、伝えようとする内容を整理した上で話している。
7				④	④	④	④ 単元の評価規準を参照
8		◇ [Step③] 1人ずつ教室の前に出て、おこがれの人について発表する。得意なことや普段の様子などについて話す。		④	④	④	※第7時に評価できなかった児童の評価や努力を要する児童の再評価を行う。

# 5年 Unit 8 Who is your hero?

単元の目標

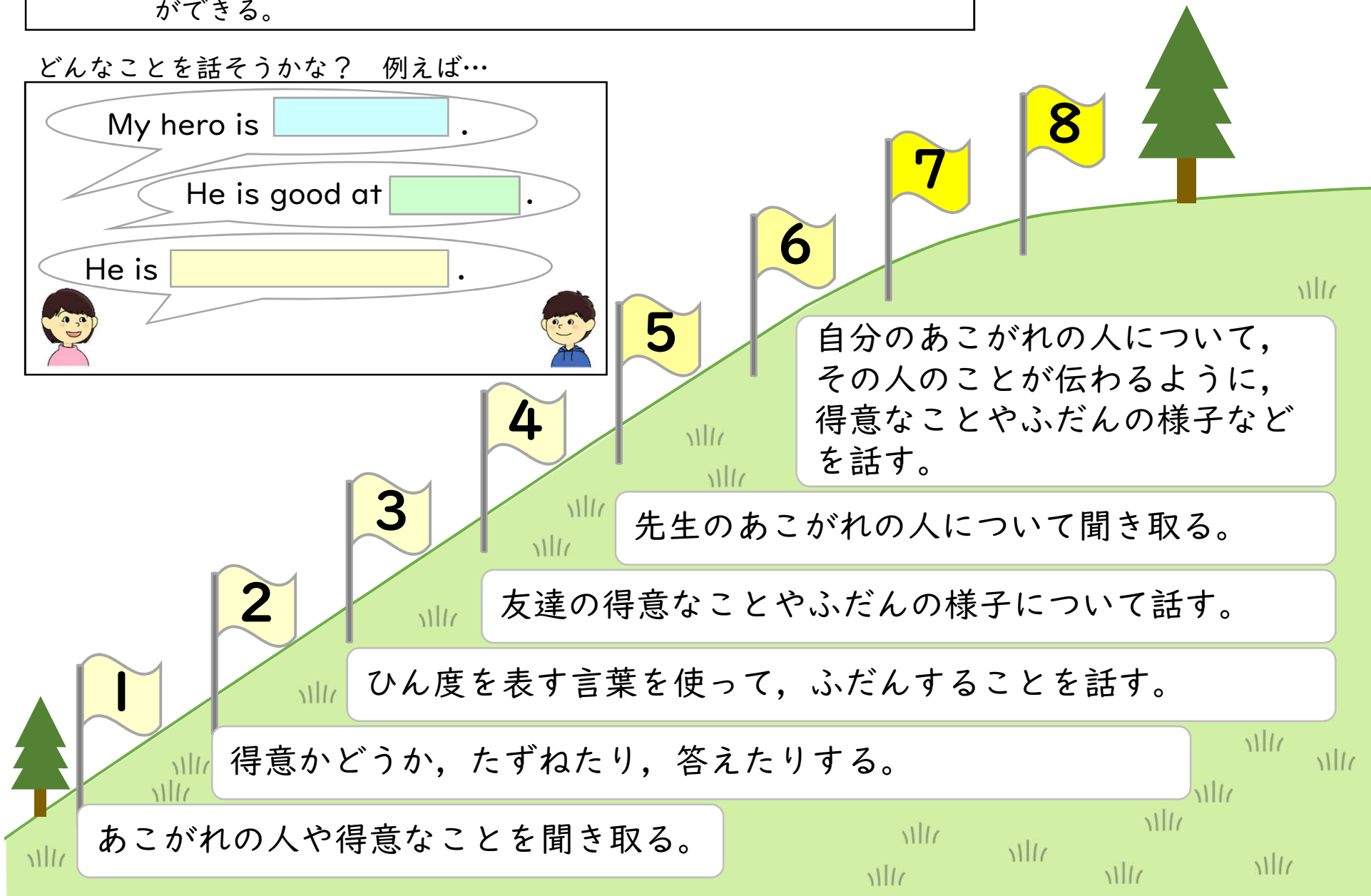
あこがれの人について、その人のことが伝わるように話すことができる。

どんなことを話そうかな？ 例えば…

My hero is [ ] .

He is good at [ ] .

He is [ ] .



自分のあこがれの人について、その人のことが伝わるように、得意なことやふだんの様子などを話す。

先生のあこがれの人について聞き取る。

友達の得意なことやふだんの様子について話す。

ひん度を表す言葉を使って、ふだんすることを話す。

得意かどうか、たずねたり、答えたりする。

あこがれの人や得意なことを聞き取る。